

住む人に
やさしいまち

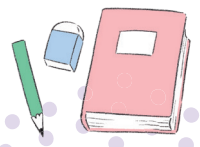


みんなが
ワクワクするまち

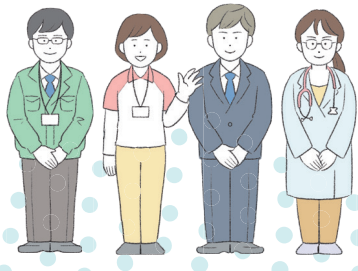


≡ 第3次 ≡

総社市 総合計画



働く人に
やさしいまち



学ぶ人に
やさしいまち



概要版

集う人に
やさしいまち



令和8年3月
総社市

「総社市」名称の由来

総社市は、かつて古代吉備の国の中心として栄えた地域であり、縄文以前から人々が生活していた形跡が見られます。

古墳時代には吉備の中心地として栄えたことをうかがわせる数多くの古墳が残されています。

飛鳥・奈良時代には、備中の国府も置かれ、国分寺、国分尼寺も配置され、備中の国の政治・経済・文化の中心地として栄えました。平安時代末期には備中国中の324社の神々を1つに合祀した総社宮が建てられ、総社市の名称はこれに由来しています。



〈人口〉 **69,450人** 令和7年3月末現在 〈総面積〉 **212.01 km²** 〈年平均気温〉 **16.5°C** (前後)

〈雨量〉 年間 1,000mm 前後の瀬戸内海特有の気候は温暖・少雨立地にも恵まれた岡山県南の自然豊かな都市です。

総社市民憲章

わたくしたちは、美しい自然と豊かな吉備文化にはぐくまれている総社市民です。このことに誇りと責任をもち、明るく豊かなまちをつくることにつとめます。

- 1 郷土を大切に美しい環境をまもりましょう。
- 2 生涯学び明るい家庭をきずきましょう。
- 3 たがいに助け合いあたたかいまちをつくりましょう。

総社市民憲章の
シンボルマーク



平成18年3月22日制定



総社市
イメージキャラクター
チュッピー

チュッピープロフィール



誕生日 **8月26日**

チャームポイント

おむつから出たハートの尻尾と真っ赤な王冠

名前の由来

総社を代表とする観光名所「宝福寺」で修業した画聖雪舟の描いたねずみがモチーフ。“チュ”と“ハッピー”(しあわせ)を合わせた名前

計画策定の趣旨

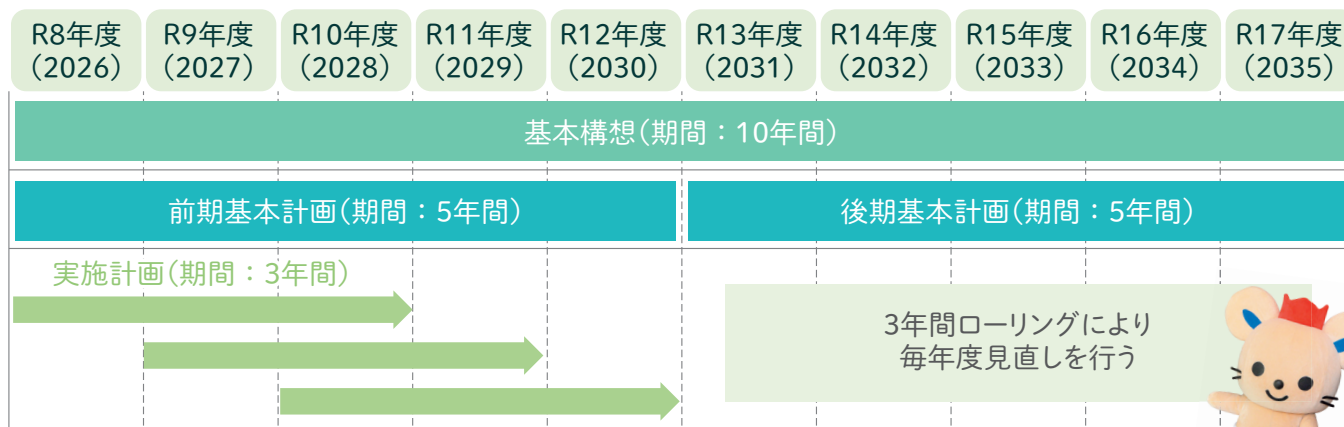
総社市では、令和8年度から令和17年度までのまちづくりの方向性を示した第3次総社市総合計画を策定しました。

本市が将来にわたり持続的に発展し、市民一人ひとりが「総社市に住んでよかった」、「総社市に住み続けたい」と心から思えるまちを実現するためには、明確なビジョンに基づいた市政運営が必要です。

この度策定する計画は、令和17年度までの間を見据え、市民、事業者、行政が一体となって市の未来を創造していくための羅針盤となるものです。

計画の構成と期間

第3次総社市総合計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」により構成され、それぞれ期間を設定しています。



吉備路
マラソン



インターナショナル
フェスタ



チュッピー
運動会



基本構想

将来都市像

「挑戦 岡山の新都心 総社」

～全国屈指の福祉文化先駆都市～

基本理念

日本一市民にやさしいまち総社を創る



\\ 基本目標 //

01 住む人にやさしいまちを創る

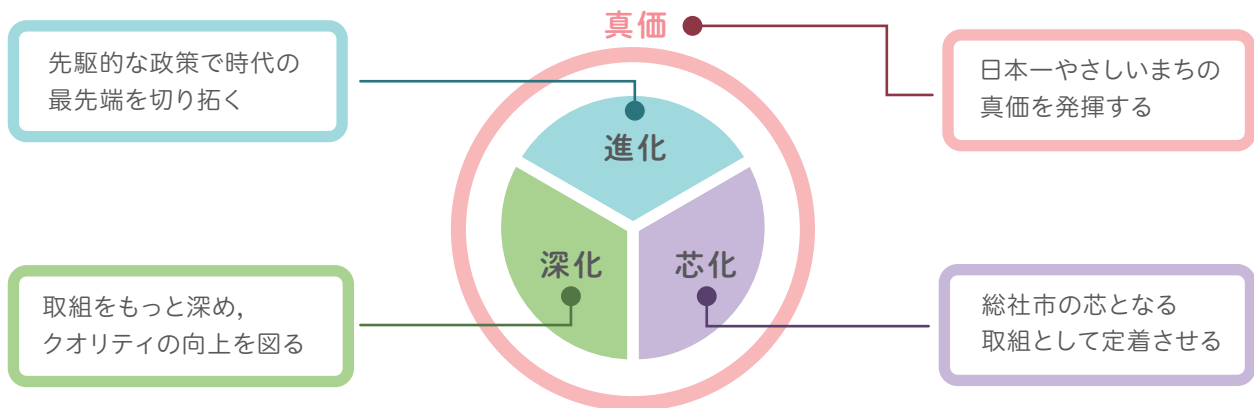
02 働く人にやさしいまちを創る

03 学ぶ人にやさしいまちを創る

04 集う人にやさしいまちを創る

05 みんながワクワクするまちを創る

■基本姿勢



将来都市像では、「岡山の新都心」を目指すため、「福祉文化先駆都市」となることを掲げています。これを実現するために、市民にとって住みやすいやさしいまちづくりに加え、地域の中で助け合える環境があるまちを目指し、「日本一市民にやさしいまち総社を創る」を基本理念に掲げます。

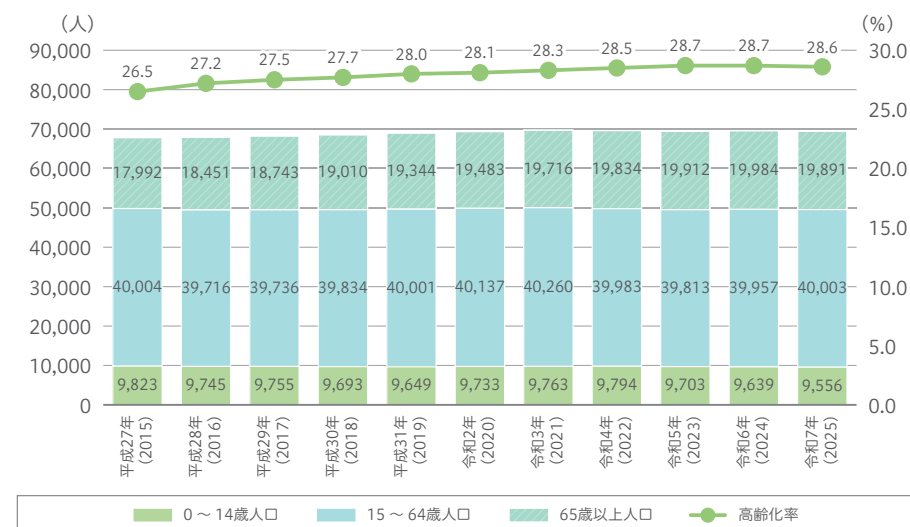
10年間の計画推進により、地方の抱える停滞感や閉塞感を打破し、地域や市民に幸せや希望を感じ、夢を抱いてもらえるよう、政策の3つの「シンカ」を追求することで、日本一やさしいまちの真価の発揮を目指します。

人口ビジョン

人口の推移

近年の人口減少社会の中で、本市の総人口・高齢化率ともに長い間ほぼ横ばいで推移しています。

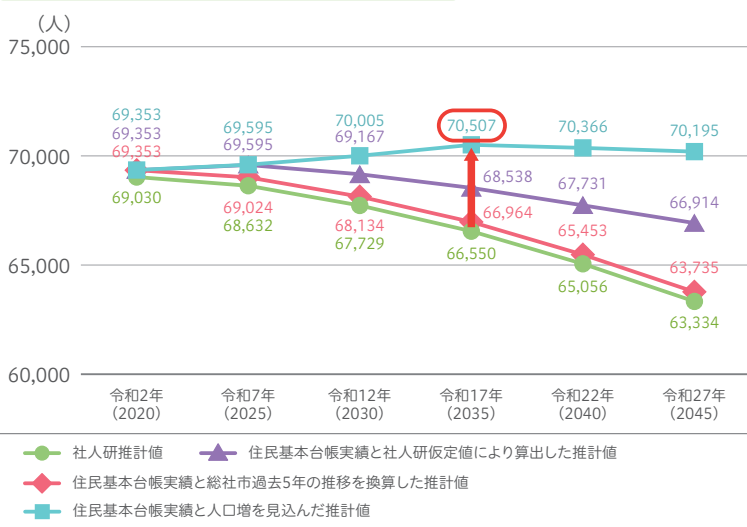
今後は出生率の維持や、転入者数の増加などにより、人口を維持し、地域の活力を保つことが課題となります。



総人口の推移予測

＼令和17年目標／

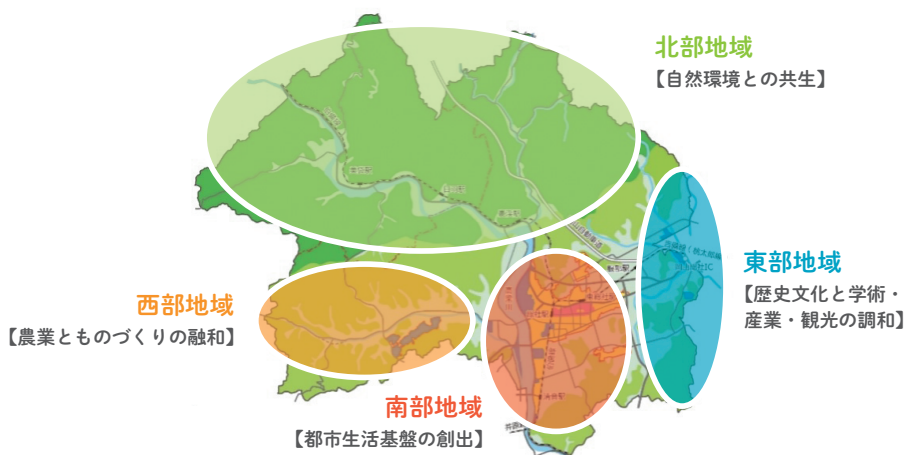
70,500人



現在、総社市の人口は横ばい傾向にあります。このままでは今後減少していくことが予想されています。

今回の計画では、総社市流施策の実行により、10年後(令和17年)に推移予測されている68,538人に対して、1,962人増加した70,500人を目標に各種事業を推進していきます。

土地利用の基本方針



目指す都市像の実現のため、優良農地の保全や企業誘致など社会情勢変化に対応し、地域の実情に応じ主体性を持つとともに、バランスの取れた土地利用を計画的に行います。

前期基本計画(第3期総合戦略)の基本目標

01 住む人にやさしいまちを創る

基本目標

総社市は市民にとって
「やさしいまち」だと思える人の割合

74.1% ➔ 80%

1 | 一人ひとりにやさしい人生のサポート

① こども・若者が主人公になれるまち

- こども・若者の意見が反映されるまち
- 全てのこども・若者の健やかな成長
- こども・若者の居場所づくり
- こども虐待ゼロのまちの実現
- ヤングケアラーへの対応
- 結婚を応援

■重要業績評価指数 (KPI)

指標	現状	目標
「自分の意見を聞いてもらえる」と思うこどもの割合	94.8%	100%
「自分にはよいところがある」と思うこどもの割合	小学校 89.3% 中学校 86.5%	小学校 90% 中学校 90%
こども虐待SOSサポーター受講者数(認定者)	586人	900人
ヤングケアラーに関する研修会や出前講座等の実施	19回	30回

② 子育て王国そうじゃの推進

- 妊娠・出産の希望をかなえるための支援
- 妊娠期から子育て期を支援
- 保育が必要なこどもが保育園等を利用できる環境整備
- 放課後児童クラブ等の整備
- 支援が必要な家庭とこどもを応援
- 乳幼児・就学期の障がい児支援の充実
- 子育て家庭のワーク・ライフ・バランスの推進

■重要業績評価指数 (KPI)

指標	現状	目標
子育てしやすいと感じている人の割合	40.9%	70.0%
出生数	489人	500人
待機児童数(園限定含む)	123人	0人

③ 健康づくりと医療支援の充実

- 元気でいきいき！健康寿命を延ばす
- 「心のケア」体制の充実
- 医療・福祉体制の整備

■重要業績評価指数 (KPI)

指標	現状	目標
健康インセンティブ事業参加者数	4,817人	5,500人
5がん検診受診者数	12,498人	14,000人
健康寿命	健康寿命※R2年度 男性80.3歳 女性85.2歳 平均寿命※R2年度 男性82.0歳 女性88.5歳	平均寿命に迫る 健康寿命の延伸
ゲートキーパー養成講座延べ受講者数(H26年度～累計)	802人	1,300人



④障がい者にやさしいまち

○障がい者支援の充実 ○障がい者の自立を支援し、生活の質を向上する

■重要業績評価指数（KPI）

指標	現状	目標
障がい者（児）相談会の開催回数（R5年度～累計）	11回	42回
就労支援から1年後の職場定着率	80.4%	維持
一般就労移行者数（H26年度～累計）	106人	180人

⑤多様な人がともに生きるまち

○多文化共生の推進 ○多様な性を認める社会の実現 ○人権教育 ○互いを思いやり活躍する

■重要業績評価指数（KPI）

指標	現状	目標
日本語教室への延べ参加者数	438人	450人
多文化共生イベントへの来場者数	2,500人	維持
人権教育指導者育成講座、 人権教育指導者研修会への参加者の満足度	97.3%	維持
審議会など委員の女性登用比率	30.6%	40%

⑥つながりが実感できるまち

○孤独・孤立への寄り添い ○ひきこもり支援 ○生活困窮支援

■重要業績評価指数（KPI）

指標	現状	目標
（ひきこもり）サポーター養成講座参加者数	33人	50人
ひきこもりからの社会参加者数（H29年度～累計）	94人	150人

⑦いつまでも自分らしく暮らせるまち

○地域力をいかした高齢者の支援・見守りの強化 ○認知症高齢者等を支える体制強化
○介護予防とフレイル予防の推進 ○切れ目のない介護と医療体制をつくる

■重要業績評価指数（KPI）

指標	現状	目標
認知症サポーター養成講座延べ受講者数（H19年度～累計）	12,682人	17,000人
いきいき百歳体操の会場数	119会場	125会場
フレイル普及啓発実施人数	1,044人	1,500人

2 | 住みたくなる・住み続けたくなるやさしいまちをつくる

①もっと生活を便利に

- 主体的な土地利用の促進
- 市街化区域の再活性化
- 国道180号総社・一宮バイパス沿線を中心としたまちづくり
- 南北道をはじめとした道路等の整備
- 生活に直結する道路の改善
- 地域公共交通の利便性向上
- 上水道・下水道の整備

■重要業績評価指数（KPI）

指標	現状	目標
そうじゃ商人応援事業補助金交付件数(H28年度～累計)	43件	60件
「雪舟くん」1日平均乗車数	178人	250人
土木担当員要望(A,Bランクの修繕要望)に対する執行率	77.8%	90%
上水道 基幹管路耐震適合率	33.5%	40.0%
汚水処理人口普及率	96.44%	97.00%

②住みたい人に選ばれるまち

- 移住・定住を促進
- 空き家対策の推進

■重要業績評価指数（KPI）

指標	現状	目標
移住相談件数	291件	300件
移住アテンド件数	20件	30件
お試し住宅稼働日数	146日	200日
空き家成約数(H29年度～累計)	123件	200件

3 | 安心して住み続けられる環境づくり

①安全・安心を実感できるまち

- 災害に強い社会基盤の整備
- 災害をしなやかに受け止める体制の整備
- 治山・治水・砂防事業の推進
- 地域インフラ整備の推進
- 防犯・交通安全・消費者保護

■重要業績評価指数（KPI）

指標	現状	目標
防災啓発事業の実施	38回	50回
地区防災計画の策定率	50.9%	70%
地域防災訓練参加者数	2,300人	3,000人
消防団員数	886人	950人
橋梁・道路付属物等長寿命化修繕計画 トンネル長寿命化計画の「判定I, II」の率	96%	98%
市内人身事故件数	152件(R6年)	150件以下
消費生活出前講座件数	19件	24件

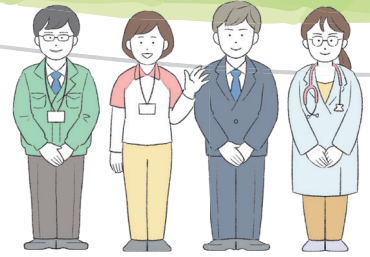
②豊かな暮らしと環境保全の両立

- 豊かな自然を大切にす
- 地球温暖化対策の推進
- にぎわいのある公園づくり

■重要業績評価指数（KPI）

指標	現状	目標
二酸化炭素排出量	517.9千t(R4実績)	375.0千t以下
環境教育・学習参加者数	235人	290人
リサイクル率	9.2%	9.7%
公園利用者の満足度	—	80%

02 働く人にやさしいまちを創る



基本目標

総社市は働く人に「やさしいまち」だと感じる人の割合

— → 20%

① 多様な人材が活躍できる雇用の創出

- 働きたい人を支援する
- 障がい者の自立を支援し、生活の質を向上する【再掲】
- ワーク・ライフ・バランスの推進
- 若者の市内就職の推進
- 高齢者が生涯活躍できる場を創出する

■重要業績評価指数（KPI）

指標	現状	目標
総社移住・創業サポートセンターでの女性創業相談件数	25件	30件
県立大学生の市内就職者数	4人	10人
就労支援から1年後の職場定着率【再掲】	80.4%	維持
一般就労移行者数(H26年度～累計)【再掲】	106人	180人
「そうじゃ 60歳からの人生設計所」を通じた就業者・創業者及びボランティア人数	151人	200人
働きやすさに関する各種認定制度取得企業数(延べ)	112社	140社

② 地域経済の活性化

- 拠点整備を支援する
- 地域イノベーションへの取組
- 市内企業・事業所との連携・支援

■重要業績評価指数（KPI）

指標	現状	目標
市が関与し事業開始した企業数(R8年度～累計)	—	3社
市内事業所数	2, 243社	2, 300社

③ そうじゃの農業を守る

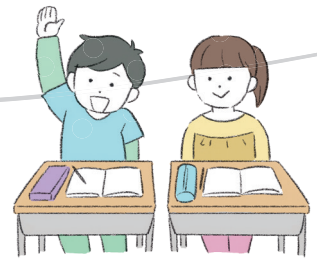
- 地食べ事業を核とした地産地消と儲かる農業の推進
- 持続可能な農業の推進

■重要業績評価指数（KPI）

指標	現状	目標
基幹作物(桃, ぶどう, セロリ, ナス)の産地における売上	927,179千円	1,000,000千円
代行耕作により農地の活用を維持した件数	—	40件
荒廃農地の面積	39.2ha	維持
新規就農者数(H27年度～累計)	53人	71人
流動化率	30%	33%

03

学ぶ人にやさしいまちを創る



基本目標

総社市に愛着を感じている人の割合

79.2% → 85%

①魅力ある教育環境の創造

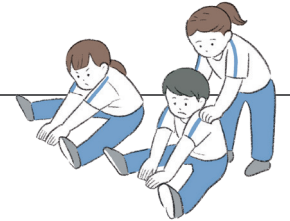
- 「心」を重視した教育
- 不登校、問題行動等に対する取組
- 特別な支援が必要な子どもたちを支援
- 特色ある学校・園づくり
- 人口減少地域の教育の充実
- 学校・家庭・地域の連携の推進
- 安全・安心で快適な学校・園の整備

■重要業績評価指数（KPI）

指標	現状	目標
不登校出現率(小学校・中学校)	小学校：1.34% 中学校：2.71%	1.0%以下 2.0%以下
高校進学を希望するワンステップ受講者の進学率	100%	維持
義務教育終了後のサポート体制が必要な子どもへの面談実施率	100%	維持
教育特区へ学区外から通園通学する幼児・児童生徒数の割合(転居を含む)	39.6%	40.0%
学校運営協議会の設置数	4校	17校(全校)
休日部活動の地域展開率	4%	82%

②生涯学び、スポーツのできる環境の実現

- 生涯スポーツの推進
- 全国屈指のマラソン大会
- 文化芸術を身近に
- 生涯学ぶ



■重要業績評価指数（KPI）

指標	現状	目標
体育施設の利用者数	519,480人	650,000人
吉備路文化館の来場者数	4,487人	10,000人
図書館の住民一人あたりの貸し出し冊数	6.26冊	6.4冊
公民館における講座・教室数	10,999件/年	11,100件/年

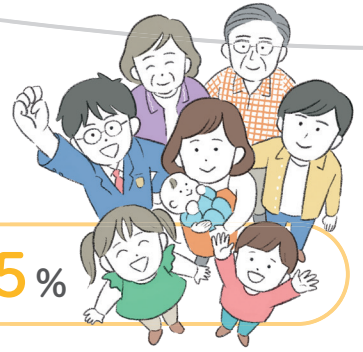
③伝統文化を次世代へ

- 作山古墳等貴重な文化財の保存，活用
- 伝統文化の保存・活用・継承

■重要業績評価指数（KPI）

指標	現状	目標
作山古墳等の文化財講座延べ参加者数(R8年度～累計)	—	5,000人
赤米伝統文化の継承についての理解度(新本小学校5, 6年生対象)	—	100%

04 集う人にやさしいまちを創る



基本目標

総社市の未来のために
何か協力したいと思う人の割合

81.8% → 85%

① やさしい社会の実現

- 地域課題を解決し、独自性ある地域を創る
- みんなで考え取り組む
- ボランティア活動の推進

■重要業績評価指数（KPI）

指標	現状	目標
市民提案型事業への応募件数	15件	25件
みらいマップ策定地区数	9地区	17地区
ごみ減量化推進団体資源回収量	626t	800t
小地域ケア会議開催箇所数	21箇所	維持

② 地域共創社会の実現

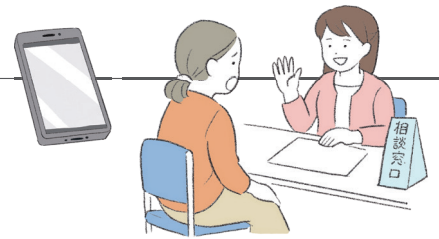
- 大学との連携
- 地元民間企業との連携
- 広域で連携する

■重要業績評価指数（KPI）

指標	現状	目標
大学との共同事業数	6件	10件
広域での連携事業数	94件	100件

③ 日本一市民にやさしい市役所の実現

- ワンストップ化の実現
- 行財政改革
- 職員の育成
- 市役所のDXの推進
- ファシリティマネジメントの実施



■重要業績評価指数（KPI）

指標	現状	目標
マイナンバーカード保有率	76.3%	85.0%
スマホ市役所 PUSH型通知サービス登録者	2,497人	5,000人
総社市公共施設個別施設計画の見直し率	—	67%



05 みんながワクワクするまちを創る

基本目標

総社市公式 LINE の登録者数

29,145人 → 35,000人

① 地域資源のブランディング

- 観光資源の魅力創出
- 吉備路エリアなどの広域観光による交流人口の拡大
- 「そうじゃ吉備路マラソン」で全国へPR
- 観光を軸とした総社愛の醸成
- 民間と連携した二次交通の整備

■重要業績評価指数（KPI）

指標	現状	目標
観光客数	85.1万人	100万人
そうじゃ吉備路マラソン参加者の大会運営評価満足度	81.3点	84.0点

② 総社の魅力を発信

- 関係人口の創出・拡大
- 総社の魅力を伝える

■重要業績評価指数（KPI）

指標	現状	目標
ふるさと納税寄附額(企業版ふるさと納税含む)	—	4億円
チュッピーファンクラブ会員数	2,480人	5,000人

計画の評価・検証

基本目標と重要業績評価指標（KPI）の達成状況を適切に把握し、政策の効果を検証し、毎年、必要な見直しと改善を図り、翌年度への事業実施に生かしていくPDCAサイクルを確立するとともに、「進化」「芯化」「深化」のどの段階に位置しているかを達成状況のマイルストーン（標石）として活用し、政策の内容を高めることで、計画の実現を目指していきます。

毎年度、事業の評価、検証を行い、効果の検証に当たっては、満足度調査など市民アンケート等も活用します。さらに総合計画審議会や市議会において進捗状況等の報告を行い、必要があれば基本計画の見直しを行います。

